

サステナビリティ推進データ

環境データ

従業員関連データ

責任ある企業活動関連データ

気候変動への対応

検証欄の●印：2022年度データ第三者検証対象

CO ₂ 排出量	単位	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	検証	GRI
スコープ1	t-CO ₂	15,879	15,213	14,605	15,003	13,840	●	305-1
エネルギー起源 二酸化炭素	t-CO ₂	15,762	15,010	14,448	14,836	13,698		
非エネルギー起源 二酸化炭素	t-CO ₂	117	203	158	168	142		
スコープ2	t-CO ₂	30,160	27,256	25,797	17,821	16,932	●	305-2
マーケット基準	t-CO ₂	30,687	27,569	25,070	17,640	26,148	●	
スコープ1+2合計	t-CO ₂	46,039	42,469	40,402	32,825	30,771	●	
原単位	t-CO ₂ / 百万円	0.186	0.168	0.165	0.126	0.111		305-4
削減量	t-CO ₂	▲1,422	▲3,570	▲2,067	▲7,577	▲2,042		305-5
スコープ3	t-CO ₂	336,837	338,191	1,351,937	1,392,551	1,523,303		305-3
購入した製品・サービス	t-CO ₂	184,254	183,178	679,567	728,993	771,590	●	
資本財	t-CO ₂	30,143	34,891	29,189	26,478	19,506	●	
スコープ1,2に 含まれない燃料及び エネルギー関連活動	t-CO ₂	5,019	4,844	7,210	7,551	7,321		
輸送、配送（上流）	t-CO ₂	24,994	25,508	23,971	26,025	25,333	●	
事業から出る廃棄物	t-CO ₂	未集計	未集計	3,291	3,155	3,928		
出張	t-CO ₂	未集計	未集計	2,160	2,720	3,354		
雇用者の通勤	t-CO ₂	未集計	未集計	5,246	4,944	4,993		
リース資産（上流）	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
輸送、配送（下流）	t-CO ₂	未集計	未集計	1,861	1,884	1,820		
販売した製品の加工	t-CO ₂	未集計	未集計	1,123	1,268	1,217		
販売した製品の使用	t-CO ₂	71,700	65,675	586,396	578,561	670,818	●	
販売した製品の廃棄	t-CO ₂	20,727	24,096	11,923	10,973	13,422		
リース資産（下流）	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
フランチャイズ	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
投資	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
スコープ1+2+3合計	t-CO ₂	382,876	380,661	1,392,339	1,425,376	1,554,075		305-4

エネルギー使用量	単位	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	検証	GRI
電力使用量	GJ	601,127	579,269	543,478	578,036	571,385		
再生可能エネルギー使用量	GJ	114	110	111	191,961	220,427		
再生可能エネルギー比率	%	0.02	0.02	0.02	33.3	39.6		
ガス（都市ガス・LPG・LNG）	GJ	269,629	260,884	241,190	251,790	233,456		
燃料（灯油・軽油・A重油・ガソリン）	GJ	24,224	19,914	26,416	25,833	22,443		
合計	GJ	894,980	860,066	811,083	855,659	827,284	●	302-1
地域別	GJ							
日本	GJ	884,445	852,344	797,662	839,229	802,771		
中国	GJ	10,535	7,722	11,720	14,906	21,331		
東南アジア	GJ	-	-	1,702	1,524	2,978		
北米	GJ	-	-	-	-	148		
欧州	GJ	-	-	-	-	56		
エネルギー使用量原単位	売上高当たり GJ/ 百万円	3.61	3.40	3.32	3.28	2.99		302-3
物流輸送量	千t x km	68,898	67,923	62,663	64,292	60,518		
モーダルシフトの推移	台							
鉄道利用コンテナ台数	台	1,964	1,912	1,951	1,282	1,429		
船舶利用コンテナ台数	台	513	771	741	684	738		

集計範囲：スコープ1、スコープ2

2018年度～2019年度：オカムラ、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、
杭州岡村伝動

2020年度～：オカムラグループ

スコープ3

2018年度～2019年度：オカムラ単体

2020年度～：オカムラグループ

排出原単位：環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース」

環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」温室効果ガス排出量の算定方法・排出係数一覧

産総研 IDEA Ver.2.3（国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver.2.3）

電気事業者別排出係数

「IGES List of Grid Emission Factors」

地球温暖化対策の推進に関する法律施行令

地球温暖化係数GWP

サステナビリティ推進データ

環境データ

従業員関連データ

責任ある企業活動関連データ

省資源・資源循環

検証欄の●印：2022年度データ第三者検証対象

水資源	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	検証	GRI
取水	m ³	234,702	218,435	225,022	233,770	196,104	●	303-3
上水道	m ³	51,340	50,307	49,095	51,073	45,568		
工業用水	m ³	53,249	49,245	50,089	53,118	48,760		
地下水	m ³	128,285	117,274	123,679	126,991	99,111		
雨水	m ³	1,828	1,610	2,159	2,588	2,665		
水使用量原単位	m ³ /百万円	3.58	3.36	3.56	3.33	2.85		
水の再生利用							●	
循環利用水量	m ³	480,990	474,119	332,920	294,363	353,128		
再生利用率	%	67.2	68.5	59.7	55.7	64.3		
排水	m ³	207,431	196,262	196,495	213,012	179,937	●	303-4
公共水域	m ³	109,197	101,617	101,988	108,759	85,206		
下水道	m ³	98,234	94,645	94,507	104,253	94,731		
水消費量	m ³	27,271	22,174	28,527	20,759	16,167		303-5
水質管理							●	303-2
BOD (生物化学的酸素要求量) 排出量	ton	5.93	6.55	6.82	8.37	6.27		
COD (化学的酸素要求量) 排出量	ton	0.10	0.07	0.04	0.15	0.04		

集計範囲：事業活動における水の使用量を対象とする。製造拠点と物流拠点。
(鶴見工場、砂畑産業は製造工程での水の使用がないため除外)2018年度～2020年度：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ、
杭州岡村伝動2020年度～：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、
杭州岡村伝動2022年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、
杭州岡村伝動

資源	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	GRI
物質投入量							
原材料	ton	131,946	143,639	136,852	167,783	158,750	301-1
補助材料	ton	3,538	3,985	4,195	4,507	4,341	
包装材料	ton	4,690	4,588	4,233	4,516	5,109	
合計	ton	140,174	152,212	145,279	176,806	168,199	
内再生材	ton	11,251	14,255	12,807	13,423	14,923	301-2
再生材の割合	%	8.0	9.4	8.8	7.6	8.9	
再生利用された製品と梱包材の割合	%	8.3	9.0	9.6	11.1	10.7	301-3

集計範囲：物質投入量

2018年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ

2021年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、砂畑産業、
杭州岡村伝動

廃棄物	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	検証	GRI
廃棄物発生量								306-3
産業廃棄物等発生量	ton	22,042	22,170	20,985	23,035	27,678		
金属くず	ton	14,273	13,789	12,719	14,800	14,087		
木くず	ton	2,331	2,624	3,028	3,081	2,800		
廃プラスチック類	ton	1,712	2,232	2,116	1,832	2,142		
汚泥	ton	1,501	1,402	1,203	1,389	1,263		
その他	ton	2,225	2,123	1,918	1,935	7,387		
有害廃棄物発生量	ton	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7		
処分されなかった廃棄物	ton	20,097	20,043	18,357	20,318	25,047		306-4
再利用のための準備								
オンサイト	ton	0	0	0	0	0		
オフサイト	ton	20,097	20,043	18,357	20,141	24,903		
リサイクル重量								
オンサイト	ton	0	0	0	0	0		
オフサイト	ton	0	0	0	177	145		
処分された廃棄物	ton	1,944	2,127	2,622	2,717	2,631		306-5
焼却(エネルギー回収あり)								
オンサイト	ton	1,674	1,881	2,401	2,475	2,415		
オフサイト	ton	234	221	199	192	174		
焼却(エネルギー回収なし)								
オンサイト	ton	0	0	0	0	0		
オフサイト	ton	0	0	0	1	4		
埋立て	ton	36	26	22	49	37	●	
最終埋立処分率	%	0.16	0.12	0.11	0.21	0.14		
産業廃棄物等排出量	ton	20,344	20,259	18,872	20,560	25,263	●	
再資源化量	ton	20,332	20,263	18,556	20,511	25,225	●	
再資源化率	%	92.2	91.4	88.4	89.0	91.1		

集計範囲：産業廃棄物等(有価物を含む)

2018年度～2019年度：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ

2020年度～：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスコカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、
砂畑産業、杭州岡村伝動

生物多様性保全「ACORN」活動

資源	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	GRI		
木材調達量									
無垢材	m ³	859	595	1,006	1,093	230	301-1		
MDF、PB (パーティクルボード)	m ³	6,034	6,862	6,800	5,831	6,955			
合計	m ³	6,894	7,456	7,805	6,924	7,185			
含む	地域別	日本	m ³	253	168	246	303	150	
		中国	m ³	0	109	0	2	3	
		東南アジア	m ³	1,565	2,099	1,258	1,581	1,349	
		オセアニア	m ³	0	0	11	42	39	
		北米	m ³	23	18	2	88	48	
		欧州	m ³	574	240	339	662	161	
		アフリカ	m ³	35	30	25	33	25	
その他	m ³	4,443	4,792	5,924	4,212	5,410			

集計範囲：木材調達量

2018年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、杭州岡村伝動
2021年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、砂畑産業、杭州岡村伝動

環境負荷の把握と環境汚染の防止

検証欄の●印：2022年度データ第三者検証対象

化学物質	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	検証	GRI		
大気汚染管理	NO x 排出量	ton	16.2	13.7	16.3	17.6	13.3	●	305-7	
	SO x 排出量	ton	2.9	1.8	2.2	2.3	2.3	●		
PRTR対象化学物質	取扱量	kg	301,195	288,302	251,243	271,277	193,828	●		
	排出量		kg	120,028	114,968	93,261	113,937	94,053	●	
		大気への排出	kg	118,906	113,847	92,839	113,335	93,506		
		公共水域への排出	kg	1,122	1,121	423	602	547		
	移動量		kg	11,331	10,723	9,042	9,823	7,611	●	
		下水道への移動	kg	247	318	78	290	244		
	廃棄物への移動	kg	11,084	10,405	8,964	9,533	7,368			

集計範囲：大気汚染管理

2018年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、杭州岡村伝動
2021年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、砂畑産業、杭州岡村伝動

PRTR対象化学物質

2018年度～2019年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、杭州岡村伝動
2020年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動
2021年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、砂畑産業、杭州岡村伝動

オカムラグループの環境マネジメント

環境マネジメントシステム	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	GRI
ISO14001 マネジメントシステム登録数	サイト数	11	11	11	12	12	
内部環境監査員有資格者数	人	22	22	20	21	26	
	従業員中の人数割合	%	0.63	0.62	0.52	0.55	0.67
内部環境監査実施部門・拠点数	箇所	38	38	38	40	40	

環境コンプライアンス	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	GRI
環境法令違反	事故・訴訟発生件数	件	0	0	0	0	0
	罰則金発生件数	円	0	0	0	0	0

環境会計

環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	単位	投資額					費用額				
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1. 事業エリア内コスト	事業エリア内コスト集計	百万円	32.8	39.6	41.0	113.1	96.7	215.0	348.4	322.7	656.3	617.8
	1-1 公害防止コスト	百万円	21.9	0.8	2.5	29.2	28.6	94.6	102.8	94.5	109.2	102.6
	1-2 地球環境保全コスト	百万円	10.9	38.8	38.0	83.1	68.1	62.8	78.7	63.4	101.1	89.5
	1-3 資源循環コスト	百万円	0.0	0.0	0.4	0.9	0.0	57.7	167.0	164.9	446.0	425.8
2. 上・下流コスト	グリーン購入、製品・容器包装回収・リサイクル等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	280.8	325.5	368.8	1.4	0.9
3. 管理活動コスト	環境負荷の監視・測定、環境マネジメントシステム運用等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	176.4	167.0	143.7	152.4	142.2
4. 研究開発コスト	環境配慮製品開発、製造時の環境負荷低減等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	202.2	194.6	219.7	239.8	202.6
5. 社会活動コスト	環境保全団体への支援等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.7	2.8	2.3	2.2
6. 環境損傷対応コスト		百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. その他コスト		百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
	合計	百万円	32.8	39.6	41.0	113.1	96.7	876.7	1,038.2	1,057.7	1,052.2	966.0

集計範囲：2018年度～2019年度：オカムラ、関西オカムラ、山陽オカムラ、エヌエスオカムラ、オカムラ物流
 2020年度：オカムラ、関西オカムラ、山陽オカムラ、エヌエスオカムラ（オカムラに鶴見工場、物流を含む）
 2021年度～：オカムラ、関西オカムラ、山陽オカムラ、エヌエスオカムラ、富士精工本社、砂畑産業

サステナビリティ推進データ

環境データ

従業員関連データ

責任ある企業活動関連データ

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	単位	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量	GJ	894,980	860,066	811,083	855,659	827,284
	売上高あたり	GJ/百万円	3.61	3.40	3.32	3.28	2.99
	水資源投入量	m ³	234,702	218,435	225,022	233,770	196,104
	売上高あたり	m ³ /百万円	0.95	0.86	0.92	0.90	0.71
	PRTR対象物質取扱量	kg	301,195	288,302	251,243	271,277	193,837
	売上高あたり	kg/百万円	1.21	1.14	1.03	1.04	0.70
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量	t-CO ₂	46,039	42,469	40,402	32,825	30,782
	売上高あたり	t-CO ₂ /百万円	0.19	0.17	0.17	0.13	0.11
	PRTR対象物質排出移動量	kg	131,359	125,691	108,945	123,760	101,673
	売上高あたり	kg/百万円	0.53	0.50	0.45	0.47	0.37
	廃棄物等排出量	t	20,344	20,259	18,872	20,560	25,263
	売上高あたり	t/百万円	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	グリーンウェーブ製品の売上高	百万円	98,342	99,637	97,934	106,479	113,403
	標準品売上高比率	%	79.6	80.2	78.3	81.6	84.1
	グリーン購入法適合製品の売上高	百万円	56,500	58,937	55,075	55,971	55,971
	標準品売上高比率	%	60.7	61.5	59.3	57.4	57.4
	回収製品・梱包材の循環使用量	t	626	706	1,530	1,638	1,463
	売上高あたり	kg/百万円	2.52	2.79	6.26	6.27	5.28
その他環境保全効果	事務用消耗品グリーン購入率	%	68.1	63.0	60.3	54.8	39.6
	モーダルシフトによる輸送量	台	2,477	2,683	2,692	1,966	2,167

当該期間の総額

項目	内容など	単位	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
当該期間の投資額の総額	生産設備更新、省力化、工業燃料の代替ほか	百万円	812	440	524	1,144	2,769
当該期間の研究開発費の総額	新製品開発・製造時の環境負荷低減ほか	百万円	1,060	898	900	872	605

環境保全対策にともなう経済効果

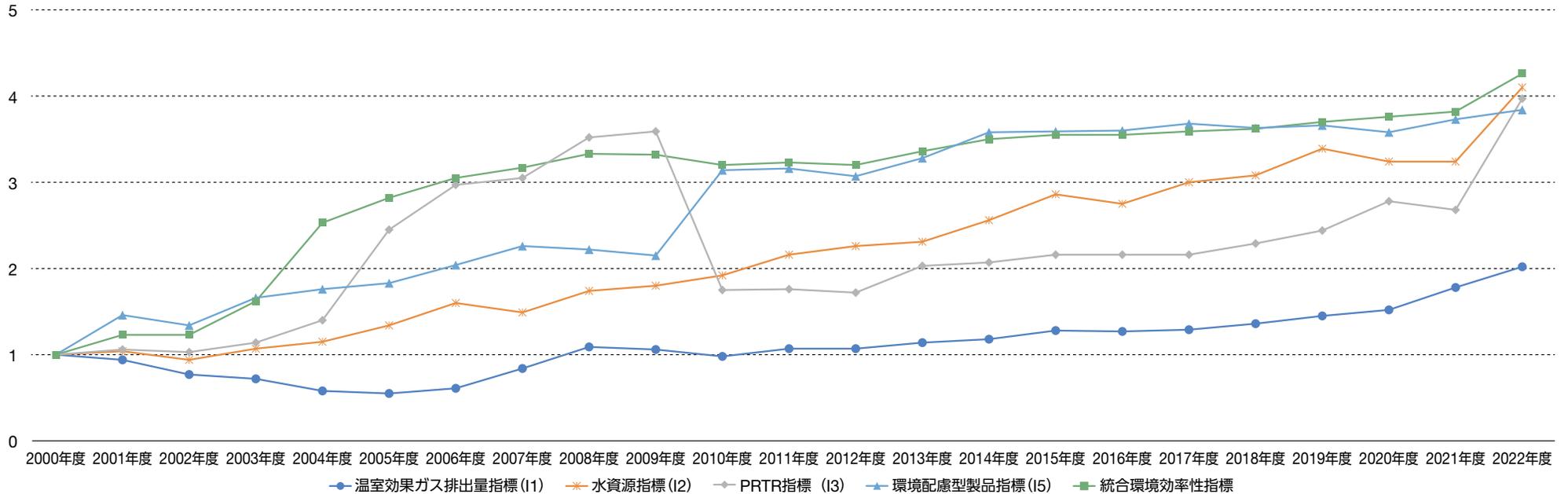
効果の内容	単位	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品などのリサイクルによる事業補助金・助成金	百万円	427	272	253	676	687
	省エネルギーによるエネルギー費の節減	百万円	0	0	0	5	5
費用節減	省エネルギーまたはリサイクルにともなう廃棄物処理費の削減	百万円	5	2	2	0	0
	リユースによる経費節減	百万円	7	15	11	11	2

売上高

	単位	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
売上高(連結)	百万円	247,925	253,170	244,454	261,175	277,015

環境効率

環境効率性指標の推移



ウエイト

W1: 温室効果ガス排出量	15.0%
W2: 水資源投入量	5.0%
W3: PRTR 取扱量	25.0%
W4: 産廃最終処分量	20.0%
W5: GW 製品売上高	35.0%

集計範囲

温室効果ガス指標	2000年度～2020年度：オカムラ、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ
	2021年度～：オカムラグループ
水資源指標	2000年度～2020年度：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ
	2021年度～：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動
	2022年度～：オカムラ製造、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動
PRTR指標	2000年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ
	2021年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、砂畑産業、杭州岡村伝動
環境配慮型製品指標	2000年度～：オカムラ

$$\text{■ 統合環境効率性指標} = \sum_{n=1}^n (I_n \times w_n) \text{***}$$

* wはそれぞれのウエイト

* 売上高：連結売上高

・ 温室効果ガス指標 (I1) = $\frac{\text{売上高} / \text{温室効果ガス排出量}}{\text{基準年度}(\text{売上高} / \text{温室効果ガス排出量})}$

・ 水資源指標 (I2) = $\frac{\text{売上高} / \text{水資源投入量}}{\text{基準年度}(\text{売上高} / \text{水資源投入量})}$

・ PRTR指標 (I3) = $\frac{\text{売上高} / \text{PRTR取扱量}}{\text{基準年度}(\text{売上高} / \text{PRTR取扱量})}$

・ 産業廃棄物指標 (I4) = $\frac{\text{売上高} / \text{産業廃棄物最終処分量}}{\text{基準年度}(\text{売上高} / \text{産業廃棄物最終処分量})}$ *1

・ 環境配慮型製品指標 (I5) = $\frac{\text{環境配慮型製品売上高} / \text{売上高}}{\text{基準年度}(\text{環境配慮型製品売上高} / \text{売上高})}$

* 1 2005年度より製造拠点でゼロエミッションを達成しているためグラフから省略